

ました。多くの求職者、事業所にご参加いただけるよう工夫をしながら開催してまいります。

また、令和6年度は医療介護事業者人材確保支援事業を拡充し、事業所に対して、外国人を雇用する際の費用の一部助成等を追加いたします。

町のインフラ整備の基盤となる建設業従事者の人材確保のため、令和5年度から建設業人材確保対策奨励金事業を開始

## 「好むと暮らしを生活基盤の確保とまげへく」

### ◆道路新設改良事業

令和6年度も1級町道高尾線をはじめとする10路線で道路線形の改良や拡幅を行ない、道路の安全性・利便性の向上に努めてまいります。

また、道路防災・老朽化対策、落石等の災害防除対策については、道路構造物等の点検を実施し、危険度・緊急度の高い箇所から修繕を進め、道路の安全確保に努めてまいります。

### ◆下水道事業公営企業会計化

本町の下水道事業は、現在、更新が必要とされる布設後50年を経過した管渠はありませんが、今後、耐用年数を超えるものが増加し、財政への負担が懸念されます。このため、今後は長寿命化対策などを含めた計画的な維持管理及び更新が必要となっております。

このような背景のもと、令和6年4月1日から公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業の3つの特別会計をまとめ、新たに下水道事業特別会計として公営企業会計を適用します。

しました。

引き続き介護福祉、建設業の人材確保に取り組んでまいります。

### ◆観光振興

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより人の移動が活発化したことや、TBSドoramaの大ヒット、トロッコ列車「奥出雲おろち号」のラストランなどが重なり、



### ◆防災

自治体の備蓄は補助的なものと考え、被災地以外からの支援を受けられるまで「最低限3日分」用意しておく必要があるとされていますが、能登半島地震では道路状況の悪化により物資輸送に支障が生じ、被災者の方々が、食料支援を受けるまでに3日以上かかるケースがあったことが明らかになりました。

本町では、県の備蓄物資整備計画並びに奥出雲町地域防災計画を基に、各種備蓄品を確保していますが、今一度、備蓄品の考え方を見直してまいります。

### ◆公共交通施策

人口減少や生活様式の変化により、バス、タクシードライバーの利用者は年々減少し、住民ニーズも多様化している状況です。加えて、公共交通の担い手である運転手の不足や高齢化により、今後のサービス水準の維持が課題となっております。

このような状況を踏まえ、「奥出雲町地域公共交通計画」を策定し、奥出雲交通における路線バスのダイヤの見直し、タ

統計調査開始以来、初めて観光入込客数が90万人を超えました。

4月7日より観光列車「あめつち」の本次線乗り入れが決定しております。運行日数も30〜40日と少ないため、JR西日本に対し、増便の要請を行いました。「あめつち」の乗客の皆様へのおもてなしについては、住民組織と連携を図り、様々なイベントなどで盛り上げてまいります。

また、日本遺産の構成要素である「た

クシー・バスの交通事業者と小さな拠点づくり等の地域住民との連携による「予約型のデマンド型乗合輸送」の導入に向けた、試験運行を実施する予定です。

### ◆空き家対策

自治体が管理不全になる恐れのある空き家の所有者に対し、指導・勧告ができるようになるなど、権限が強化されたことにより、現行の空き家バンク制度による空き家の利活用に加え、除却等の管理・処分についても検討を進めてまいります。

### ◆環境衛生施策

広域処理施設の整備の検討状況については、次期廃棄物処理施設整備準備検討会議及び用地選定委員会を設置し、建設候補地の選定を重点課題として検討してまいりました。すでに候補地の抽出を終えており、現在は適地選定に向けた評価基準の作成を専門家からのご意見もいただきながら進めています。



## 「奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」

### ◆奥出雲病院

新年度より総合診療科医師を1名増員し、常勤医10名体制となり、外来・入院診療及び在宅医療に合わせ、町内の介護福祉施設や医療機関への医師派遣などにも対応してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症については、引き続き、同院で入院患者の受け入れを継続して行うほか、令和6年度に看護師1名が「感染管理認定看護師」を取得することから、医師と協力しながら町内の各介護事業所等でクラスターが発生した場合、感染対策の相談や現地において助言を行います。

### ◆健康増進

「奥出雲町げんきプラン21第3期計画」及び「奥出雲町国民健康保険第3期データヘルス計画」に基づき、生活習慣病予防対策を基本として、健康寿命の延伸、地域ぐるみでのこころと身体の健康づくり、介護予防の推進をしてまいります。

がん検診の受診率の向上については、

## 全ての行政分野で推進すること

### ◆自治体DXの推進

令和5年度は、奥出雲町DX推進計画を策定し、町行政のDX化の検討を行いました。令和6年度からは、計画を基に様々な手続きのデジタル化を図ってまいります。

## 総括

私が町長に就任してから、1年半が経とうとしています。この間、議会、町民の皆様にも多大なる心労をおかけしたこと、この場をお借りしてお詫言申し上げます。一方で、令和5年度は「奥出雲町の新たなまちづくり」社会を構築していくスタートは切れたのではないかと考えております。

奥出雲椎茸の破産処理による基金の減少などにより、非常に厳しい予算編成となりました。この厳しい状況の下、私が掲げております「総力戦のまちづくり」奥出雲創生に「町民の皆様と一緒に取り組んでまいります」と考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

の関係機関と連携強化を図り、地域が一体となった見守り体制の強化を行います。

### ◆高齢者福祉

これまで実施していたテレビ電話での見守りを見直し、コールセンターの情報クラウド化により支援関係機関で共有し、見守りが必要とする高齢者等を重層的に支援する仕組みとして「高齢者等見守りネットワーク事業」に拡充し、高齢者の見守り強化を図ってまいります。

### ◆障がい福祉施策

「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の策定に向け、最終調整を行っており、この計画に基づき、適切な障がい福祉サービスを提供することで、障がいのある方、ない方、誰もがかけがえのない個人として尊重され、共に住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう支援に努めてまいります。

### ◆生活困窮者対策

地域や関係機関と連携し、就労準備支

援や家計改善支援、学習支援、ひきこもり支援等各種事業を実施すること、引き続き自立に向けた支援を行ってまいります。

### ◆文化・スポーツ振興

奥出雲町文化協会を中心に活動を推進していただいております。引き続き、芸術文化祭や芸能音楽祭の開催などにより、文化の薫り高いまちづくりを推進してまいります。

また、文化財保護について、国の重要な文化的景観に選定されている「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観」の景観保全を進め、阿井地区にあります「たたら角炉」の修繕など、保存活用を推進してまいります。

スポーツ振興について、ホッケーに限らず、町内競技関係者が様々な大舞台で活躍できるよう支援を継続するとともに、子どもから高齢者まで、より多くの町民の方々がスポーツに触れ、健康で心豊かな日々が過ごせるよう、スポーツの振興に取り組んでまいります。